

ホセチル水和剤 アリエッティ水和剤	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： バイエル
成分： ホセチル……………80.0%	性状： 類白色水和性粉末45 μ m以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

●ホセチルが作物体内に入った場合、作物の病原菌に対する自己防衛機能を向上させる。たとえば

○ポリフェノール保護膜の形成をうながし、菌糸をつつみこみ伸長を阻害する。

○細胞膜補強カルスの形成をうながし、菌の侵入を防ぐ。

○小球体を形成させ、菌体内へ直接侵入する。

●浸透移行性に優れ、植物体中を上部へも下部へも速やかに移行する。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●発病前の予防的使用により優れた効果を発揮する。

●フロアブル剤と混用する場合、必ずフロアブル剤を最初に所定濃度に希釈してから本剤を加える。

【薬効・薬害等の注意】……………

●アルカリ性薬剤及び葉面散布肥料との混用はしない。

●なし（幸水、豊水は除く）に使用する場合、6月中旬までの散布はさける。幸水、豊水については6月中旬までの散布で葉に軽度のクロロシスを生じることがあるが実用上問題ない。

●無機銅剤との混用及び近接散布は薬害を生じるおそれがあるので次の使用間隔を守る。

○きゅうりの場合

アリエッティ → 5日以上 → 無機銅剤 → 14日以上 → アリエッティ

○ぶどう、かぼちゃ、メロンの場合

アリエッティ → 7日以上 → 無機銅剤 → 14日以上 → アリエッティ

●適用作物（ほうれんそう、わけぎ、パイナップル、かんきつ、みかん、ぶどう、なし、きゅうりなど）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………



【適用と使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ホセチルを含む 農薬の総使用回数	
ぶ　ど　う	べと病	800倍	200～ 700 ℓ	30日前まで	3回以内	散布	3回以内	
か　ん　ぎ　つ	苗疫病 褐色腐敗病	400～ 800倍		前日まで				
な　　　し	黒斑病 輪紋病	800倍		14日前まで				
	疫病	800～ 1000倍		幼果期まで 但し、収穫 120日前 まで	2回以内		2回以内	
キウイフルーツ	果実軟腐病	600倍		7日前まで	3回以内		3回以内	
パッションフルーツ	疫病	800倍	—	植付時	1回	苗浸漬	2回以内 (苗浸漬は1 回以内)	
パイナップル	心腐病	400～ 800倍	100mℓ / 株	開花期 まで	2回以内	土壌灌注	1回	
	根腐萎凋病							
さ　る　な　し	果実軟腐症	600倍	200～ 700 ℓ	60日前 まで	1回	散布	3回以内	
り　　ん　　ご	すす点病 すす斑病 斑点落葉病	800～ 1000倍		前日まで				
	褐斑病	1000倍						
に　ん　じ　ん	黒葉枯病	800倍	100～ 300 ℓ	7日前まで	3回以内			3回以内
か　ぼ　ち　ゃ	疫病 べと病	400～ 800倍		前日まで				
き　ゅ　う　り	べと病	800倍		3日前 まで				
メ　ロ　ン	べと病							
ね　　ぎ　　ぎ	疫病							
ほうれんそう	べと病 白斑病	1500倍	前日まで	2回以内	2回以内			
み　　つ　　ば	べと病	1000倍	14日前まで 但し、伏せ 込み栽培は 伏せ込み前 まで					
畑　わ　さ　び (根茎)		600倍	21日前まで	3回以内	3回以内			
わ　　さ　　び (根茎)			畑育苗期					
な　　ば　　な	白さび病	2000倍	前日まで	2回以内	株元灌注	2回以内		
サ　ラ　ダ　菜	褐斑病	1500倍	3日前まで					
エ　ン　サイ	白さび病	1000倍	7日前まで					
た　　ば　　こ	疫病	400～ 800倍	200mℓ / 株	大土寄時	2回以内	株元灌注	2回以内	
	舞病		100mℓ / 株	移植時				
ホ　　ッ　　ブ	べと病	800倍	200～ 700 ℓ	14日前	3回以内	散布	3回以内	